

新町の基本理念

新町の基本理念

『 水と緑のうるおい 人の営みが
かな
奏でる未来のふるさと 』

新町は、長野県の東南部、南佐久郡の中央部から北部に位置し、千曲川が南北に流れ、千曲川を境に、西部は八ヶ岳山系、東部は秩父山系になっており、豊かで、複数の自然環境が手付かずで残されています。また、この清らかな水や澄んだ空気、さわやかな緑、彩り豊かな花は、住んでいる人にはやすらぎとうるおいを、外から来る人には感動をもたらし、この地域の伝統・文化を育んできました。

そこで本構想では、新町の基本理念を『水と緑のうるおい 人の営みが奏でる未来のふるさと』とします。

この理念は、この地域の豊かな自然、清らかな水や高原の緑がもたらすやすらぎやうるおいが、快適で安全な住環境や活力ある産業と調和することにより、将来に向けて、新しい価値観による「ふるさと」を創り出すことをめざしています。

「水と緑のうるおい 人の営みが奏でる」は、次のことを表現しています。この地域の自然環境は、私たちの豊かな心と伝統・文化を育ててきたかけがえのない財産であり、新町のまちづくりの基本となること。また、この豊かな自然が、私たちにやすらぎや温もり、うるおいを与えるだけでなく、私たちがこの自然を愛し、守り、誇り、この自然と共生することにより、自然と調和した住環境や産業基盤を創造する財産であること。さらに、この自然の恵みを、外から来る人や次世代にとっても財産となるように大切にしていくとともに、人や文化の交流により、この地域が未来に向けて発展することです。

「未来のふるさと」は、こうした自然環境の豊かさ、自然と調和した住環境や活力ある産業の創造により、そこに住む人々の心を豊かにし、子どもから高齢者まで、元気で、笑顔で、住民一人ひとりの顔が見え、温もりを感じながら生活できる「ふるさと」をめざすことを表現しています。さらに、これまでの「古き良き時代」「古き良きふるさと」から「新しき良き時代」「新しき良きふるさと」へと新しい価値観を付加し、愛着と誇りの持てる地域を創りあげていくことを表現しています。